

# 電子計算機センター

ニュース NO. 70

佐賀大学

電子計算機センター

内線 (2592)

1988年11月 7日

情報処理センター

準備委員会

## 1. 新旧システムの稼働期間について

新システムは2月1日から本稼働を始めます。

新システムへの移行作業などを考慮し、旧システムの中で必要最小限の機器だけを残した上で並行運転を行います。

旧システムの一般利用は3月31日までとします。

新システムと旧システム機器の稼働期間は以下の通りです。

機器名	11月	12月	1月	2月	3月	4月
新システム				→		
旧システム						
中央処理装置					→	
磁気ディスク装置					→	
磁気テープ装置					→	
日本語プリンター装置					→	
マスターコンソール					→	
日本語端末装置					→	
端末装置6台					→	
カード読取装置					→	
プリンター装置2台	→					
XYプロッター装置	→					
カード読取装置	→					
サブ・コンソール	→					
紙テープ読取装置	→					
紙テープ出力装置	→					
カードせん孔機5台	→					

旧システムのカード読取装置1台、プリンター装置2台、XYプロッター、サブ・コンソール、紙テープ読取装置、紙テープ出力装置、カードせん孔機5台は、11月30日(水)に取り外しを行います。

なお、現OCR装置については、4月以降も新システムの機器として稼働します。

## 2. システムの稼働停止日について

機器の取り外しと設置位置の移動等の作業のため旧システムの運転を停止します。

運転停止日      11月30日(水)

今後、11月から4月いっぱいまで旧システムの機器取り外しや新システムの搬入、センター内の改装などで、計算機の運転を一時的に停止することもあります。

毎年、卒論などで計算機の利用が増える時期で、各ユーザーの方にたいへんご迷惑をおかけすることと思いますが、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

## 3. 新システムでは

### カードは利用できません

今後の計算機の利用形態を考慮して、新システムの機器構成には、カード読取装置を入れておりません。

新システムでのプログラム及びデータ等の主な入力方法は

1. TSS端末からのキー入力。
2. MT(磁気テープ)からの入力。
3. IBMフォーマットの8インチFPD(フロッピーディスク)からの入力。

となります。

したがって、カードでプログラム及びデータ等を保存されているユーザーは、カード読取装置が稼働しているうちに、MT又はFPDにバックアップを行っておけば、新システムで入力することができます。

センターでは、12月20日(火)までカードからMT又はFPDへのバックアップ作業のサービスを行います。

バックアップ用のMTとFPDはセンターで準備し、バックアップをとった後のMTとFPDはセンターで保管します。もし、研究室等、個人で別途保管する場合は各自でMT又は8インチFPDの準備をお願いします。

#### 4. センター内に保管されている

##### カードの整理について

センター内のデバッグ室のカードロッカーにカードを保管されているユーザーは、11月26日(土)までにカードの整理をお願いします。

ご連絡のない場合は、センターで処分します。

#### 5. 区分編成データセットを

##### MTで保存されているユーザーへ

順編成のデータセットをMTに保存したファイルはそのままで新システムで入力できますが、区分編成のデータセットをMTに保存したファイルは、新システムでは入力できません。

センターでは、新システムでMTのファイルが入力できないことがないようにMTのチェックを行い、特殊フォーマットのファイルである場合は入力可能なファイルをMTに作成し保管するサービスを行います。

この作業は、並行運転中に行い4月末に完了の予定です。

MTをお待ちのユーザーは、12月20日(火)までにセンターにご連絡下さい。

センターでは、各ユーザーのオリジナルMTをもとに、入力可能なファイルをセンターで準備したMTに作成し保管します。作業終了後、オリジナルMTは各ユーザーにお返しします。

なお、旧システム稼働中に、各自でMT処理を行っていただける場合は、以下の手順に従って下さい。

1. オリジナルMTのファイルのチェックを行う。
2. オリジナルMTのファイルをDISK上に復元する。
3. 復元した区分編成のデータセットをメンバー別にMTへコピーを行う。

不明な点がございましたら、お気軽にセンターにご相談下さい。

#### 6. 新システムでのフロッピーディスク の入力について

旧システムで作成した8インチFPDは、そのまま新システムで入力できます。MS/DOSフォーマットで作成(パソコンで作成)されたFPDは、LAN完成時まで当分の間、入力できません。

ユーザーで、MS/DOSフォーマットのFPDを新システムで入力したい場合は、IBMフォーマットにファイルコンバートを行って下さい。